

【書く・なぞる】俳句 与謝蕪村 四

荒海や 佐渡によこたふ 天の川

冬牡丹 老僧の眉 うごきけり

春風や 堤長うして 家遠し

目にかかる 時や椿の 垣根哉

霜の朝 開けたる鶴の 瘦やせ姿